

患話休題

かんわきゅうだい

75



院長
真崎 雅和



带状疱疹ワクチンその後

以前 带状疱疹のワクチンについてお話ししました。読者の方の中には、最近新しいワクチンができ、従来の物と比べ効果の持続が長いらしいというお話を耳にされた方もいらっしゃるでしょう。

带状疱疹とは、体の左右どちらか一方に、ピリピリと刺すような痛みとこれに続いて赤い小さな水膨れがブツブツと帯状に現れる病気です。原因は子供の頃に感染した水痘瘡(水痘)ウイルスによるものです。このウイルスは、水痘瘡が治った後も、神経の一部 神経節というところに潜んでいます。このウイルスに対する免疫(抗体)が成立しているので、通常は押さえつけられています。しかし、体が弱ったり、高齢化して抗体が減ってくると、ウイルスが神経に沿ってうごめきだし、発症してしまうわけです。

带状疱疹による痛みはかなり不快で、数カ月にも及ぶことがあります。また耳の周囲に発症すると、顔の筋肉が動かなくなったり、耳が聞こえなくなったり、めまいを起こしたりします。高齢者では3人に1人がかかるともいわれています。

予防は、減少した抗体を増やすことで、ワクチンが有効です。従前型は、水痘患児から分離・継代されたウイルスを弱毒化したもので、

生ワクチンです。発症予防効果は50%あり、発症しても神経痛の程度が軽くなるのが実証されていて、

2016年からは、带状疱疹の予防投与が認可されました。ただ、3〜11年くらいで抗体が減少してくるという報告があります。また、生ワクチンなので、妊婦さんや、がんなどで免疫の弱った方に投与すると、水痘を発症させる危険があるため、投与は禁止されています。

新しいワクチンは、不活化ワクチン(サブユニット型)といわれ、感染の危険はありません。ウイルスが細胞に感染するのは、ウイルス表面に複数の細胞の扉を開ける鍵をもっているからで、その鍵に対する免疫をつくってくれるのがワクチンです。サブユニット型は、有効な複数の鍵を厳選し、効率よく並べたもので、免疫効果が増強されていて、発症予防は90%以上と報告されています。日本でも昨年からは使用できるようになりました。抗体の維持効果は10年以上といわれています(まだできて間もないので、それ以上のデータはありません)。

従来型は、皮下注射で1回接種、費用は8千円程度。新型は筋肉注射で2カ月空けて2回接種が必要で、1回の接種は2万円以上します。高価なのが気になるかもしれません。



診察時間が近づいたことをお知らせする

メールサービス
約30分前

ご利用ください。
ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:00	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321
秋田市土崎港中央6-8-3